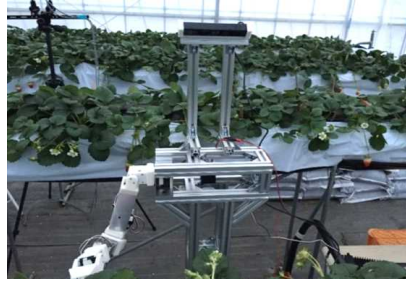


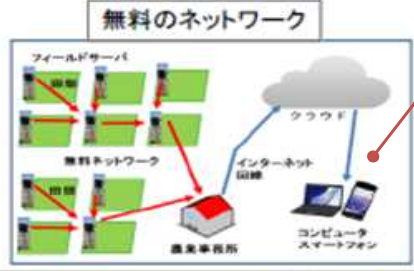
環境モニタリングセンサーによる農作物品質支援



ロボットや画像処理による高品質化・無人化

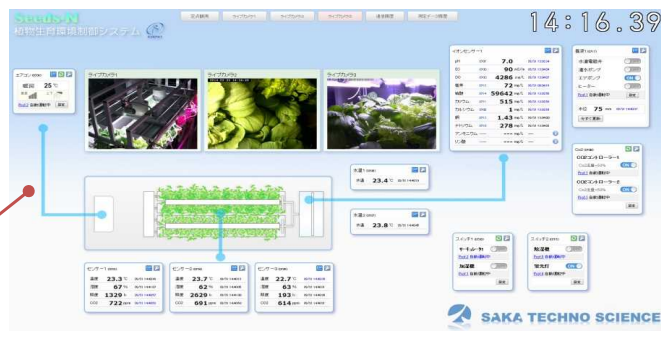


- ・(公財) 石川県産業創出機構
平成27年度新技術・新製品開発事業化可能性調査事業に採択。
- ・(公財) いしかわ農業総合支援機構
農林水産業期間技術開発トライアル事業に採択
連携先企業団体：5



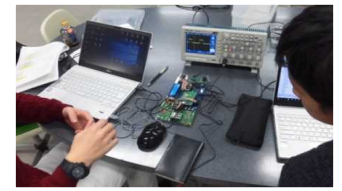
KITにて単独特許を有するLPWA技術を活用し、田圃/圃場のIoT管理を行う。

産学連携にて開発したわさび植物工業のIoTシステム。遠隔で生体電位による診断を行う。



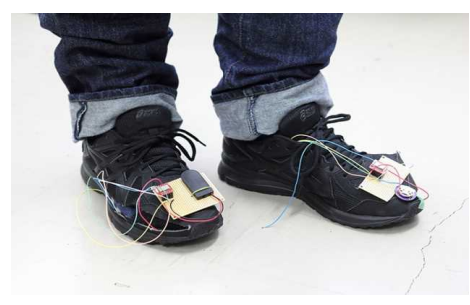
広大な敷地を持つほ場や障害物がある場所でも利用可能なネットワークの構築

- 地方名産品のブランド化を目指す品種の栽培において、品質管理や収穫の安定化を目的とした産学官連携を行っている。
- 環境をモニターするセンサーの開発や農作業の省力化を目指した農作業ロボットの開発を目指している。

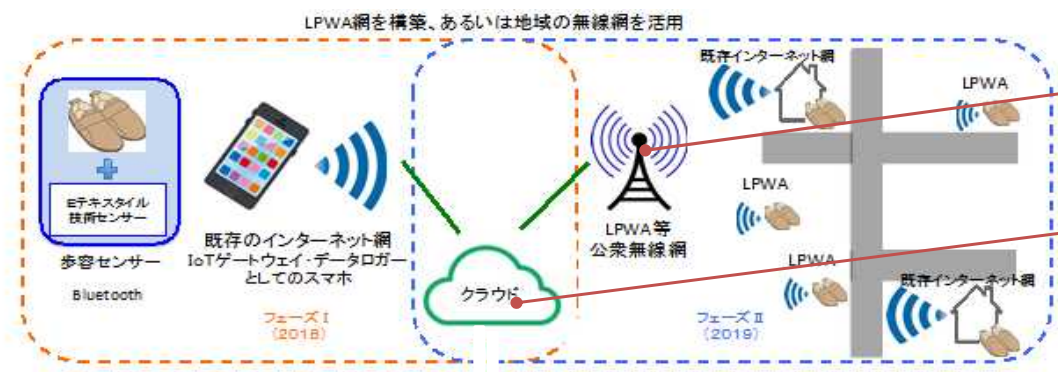


IoTシューズによる地域高齢者の健康・見守り支援PRJ

e-テキスタイルによるスマートシューズのプロトタイプ



- 総務省平成30年度「戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)」重点領域型研究開発 ICT重点研究開発分野推進型3年枠に採択
連携企業団体：3



白山麓キャンパスに設置したLPWAを活用し、地域と連携した実証試験を行う

クラウドシステムを活用し、遠隔でも接続/操作が可能。⇒家族の見守りが可能。

- e-テキスタイル技術とIoTを用いたスマートシューズで活動量や歩き方の変化を検知し、健康寿命の延伸に活かす
- 地域高齢者の健康と見守りを支援するモニタリングシステムの研究開発

地方創生研究所イノベーションハブメンバーシップ・プログラム

白山麓キャンパス イノベーションハブでの中山間地滞在型研究活動を支援する為の研究支援メンバーシップ・プログラムを提供



情報提供

- 地方創生研究所を筆頭に、大学で取組む最新の研究PRJ情報
- 企業や自治体による各種セミナー情報
- 社会インフラ、自然環境、生体等のデータ利用サービス

実証実験支援

- 実証実験に向けた技術相談
- 白山麓キャンパスを中心とした実証実験の実施に際する地域や自治体との環境調整
- シーズ/ニーズ、連携企業、共同研究、委託研究などのマッチングサポート

施設設備利用

- 実証実験での作業スペース、機材設置スペース
- 現場滞在型実証実験のための宿泊施設
- 社内・社外に向けた情報提供、プロジェクト活動に活用するカンファレンススペース

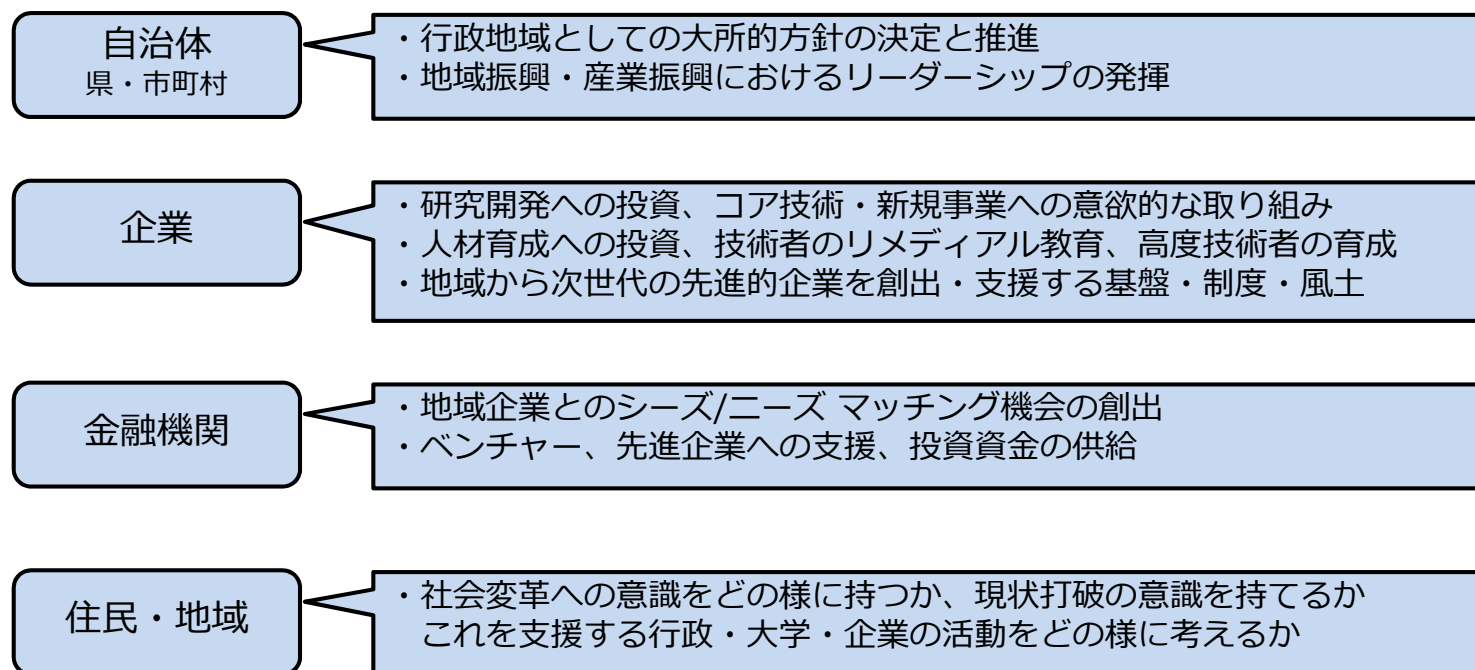
地方創生研究所今後の活動

- 地方の課題を大学の研究課題として取組む為に、自治体との連携、地域との関係づくり、地域課題に関連する企業との連携、主体間での交流機会提供などの研究環境準備を進めてきた。
- 地方創生研究所が立ち上がった事により、研究課題の具体化が進み、テーマに沿った横への広がりや個々の研究課題間での関連性が生まれ、具体的研究として助成金を獲得するものが生まれてきた。
- エネルギーマネジメントなど、社会実装目標イメージが明確になってきたものは、そこからバックキャストで現状から目標までの研究計画を策定、研究資金獲得の方策を考える。
- 連携自治体と協働し、SDGs 目標を各研究課題にあてはめ、地域のSDGs 目標達成へと繋げる。

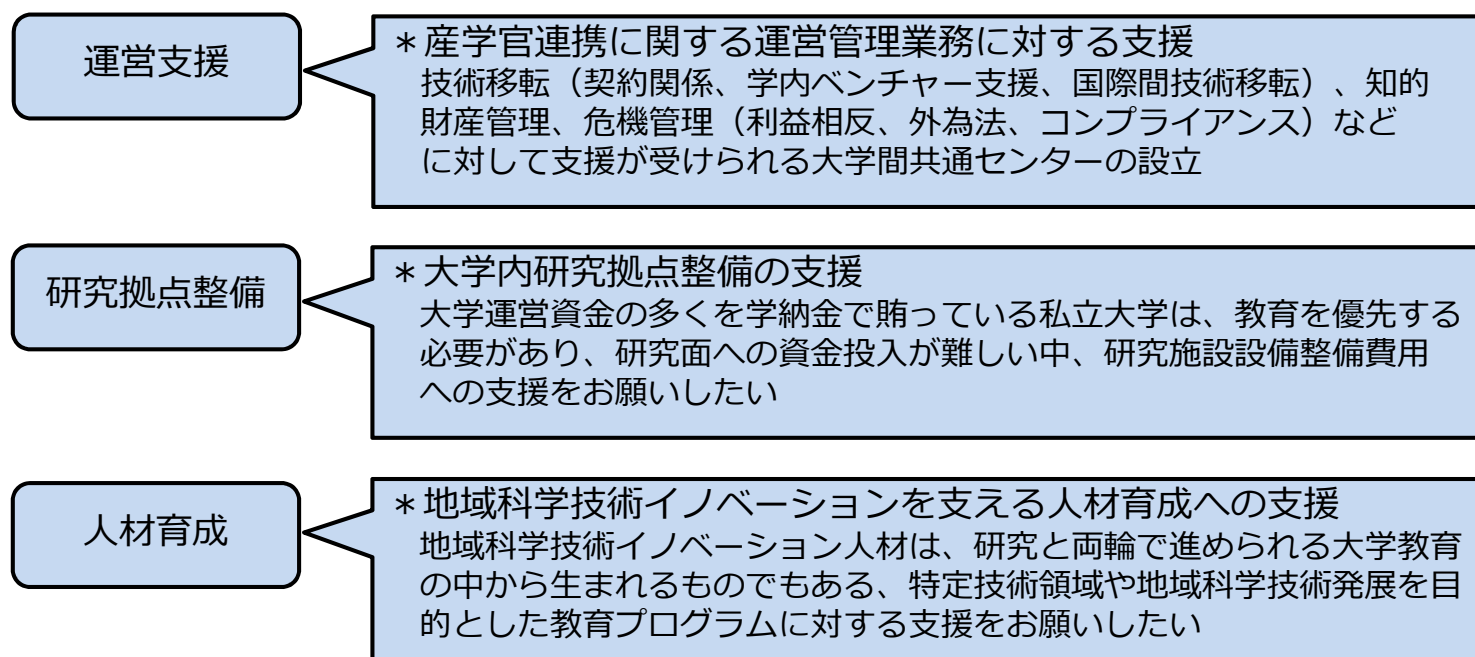
地域課題発掘 研究構想 研究環境整備 実証研究 社会実装

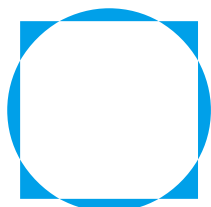


地域での科学技術イノベーションを創出していくうえでは、共通にイメージ出来る地域課題を設定し、そこからバックキャストする形で各主体の役割が決まり、イノベーションを生むための活動を分担して担っていく事となる。



中小規模私立大学が地域科学技術イノベーションを進める上では、限りある経営資源をバランスさせながら事業を進める必要がある。産学官連携事業関連人材の確保、研究環境の整備、教育との相乗効果向上など、それぞれの大学が自校の強みを活かす事が出来る支援プログラムの拡充をお願いしたい。





BROOKMAN TECHNOLOGY

(株)ブルックマン テクノロジ
代表取締役会長/CTO
川人 祥二

<http://brookmantech.com>

報告内容

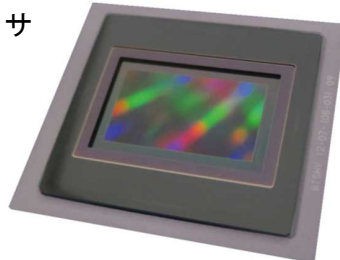
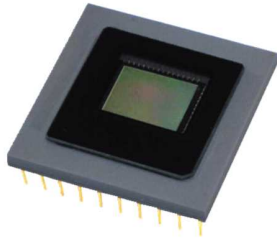
1. BT社が行っている科学技術イノベーション活動の具体的取組
2. 当該取組に関するBT社の担う役割及び他主体との連携関係
(「論点整理」の「主体に期待される役割」の具体事例)
3. 「論点整理」の各小項目に関するBT社の考えについて
4. BT社が科学技術イノベーション活動に取り組む際に感じる
 - (1) 障壁や課題(例: 研究開発・社会実装活動やそのマネジメント、活動の持続性、多様な主体との連携、人材の確保、等)
 - (2) 成功に不可欠と考える要素
5. BT社が科学技術イノベーションに取り組むに当たり、特に国に対して期待する役割、サポート、具体的な支援等について



事業内容：CMOSイメージセンサの開発・販売および受託開発を行っています。

We are **“Professionals”** for CMOS Image Sensor !

超高感度・広Dレンジイメージセンサ
BT130C/BT200C

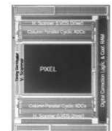
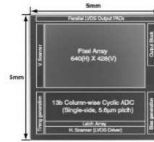
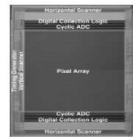


8Kスーパーハイビジョンセンサ
BT3300N

高速度・低雑音イメージセンサ
BT130A/BT033A



カスタムセンサ開発 解像度・フレームレートをはじめ、お客様の様々なニーズにあったカスタムイメージセンサの開発・供給を実現します。



About US



- 設立：
 - 2006年2月14日 (株)ブルクマン・ラボ としてスタート
(2009年5月1日 (株)ブルクマンテクノロジー に社名変更)
- 代表取締役会長／CTO／静岡大学 教授：
 - 川人 祥二 (Shoji Kawahito)
- 代表取締役社長 (CEO)：
 - 青山 聡 (Satoshi Aoyama)
- 従業員 (2018年6月現在)：
 - 30名
- 所在地：
 - 静岡県浜松市中区大工町125



President, CEO
Dr. Satoshi Aoyama



Chairman, CTO
Dr. Shoji Kawahito



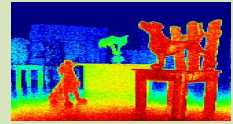
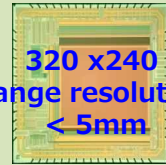
高柳 健次郎 先生が
世界で初めて
ブラウン管に「**I**」の字
を表示



WDR CIS

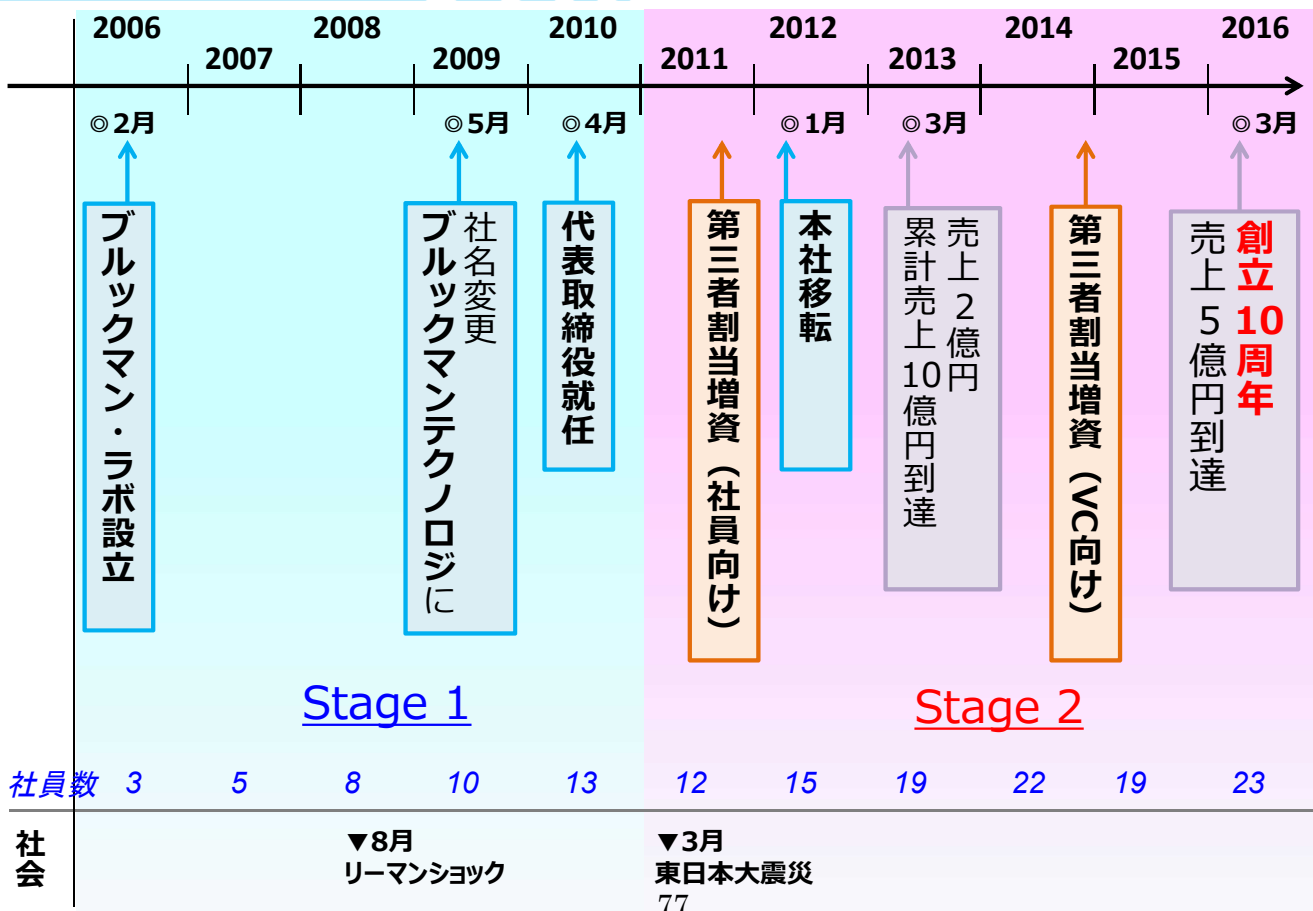
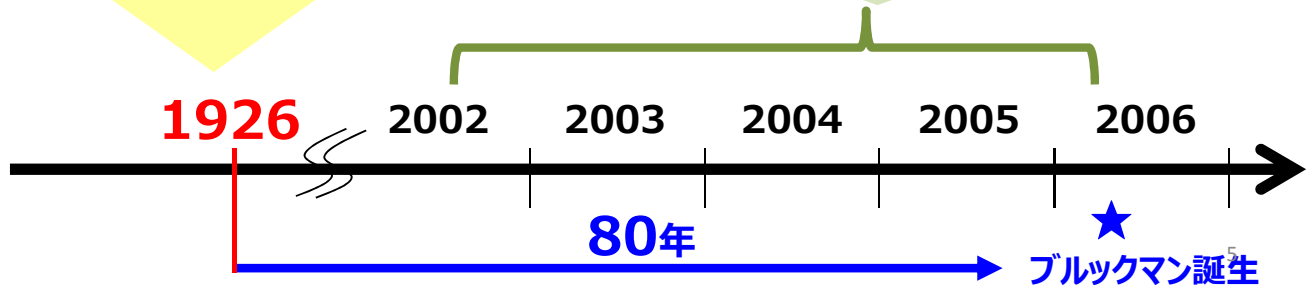


High Speed CIS



TOF Range CIS

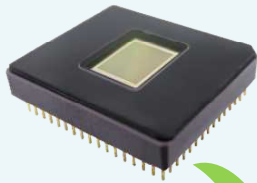
文部科学省
第 I 期 **浜松地域** 知的クラスター創成事業





High-Speed

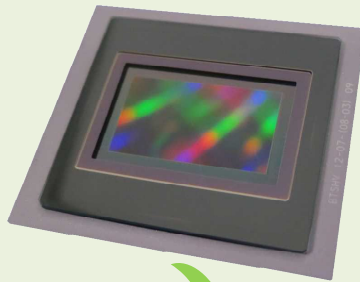
BT130/033A



唯一の超高速・低ノイズ
イメージセンサ

High-Resolution

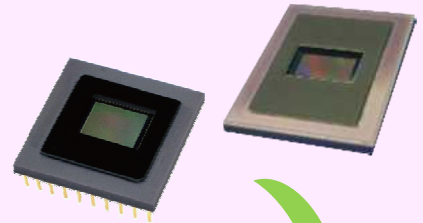
BT3300N



唯一のフルスペック(33M,
120fps)8Kイメージセンサ

High-Sensitivity

BT130/200C

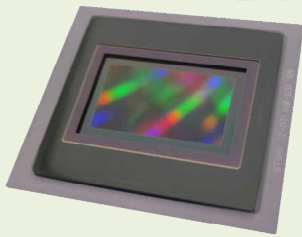


唯一の超高感度18ビット
イメージセンサ

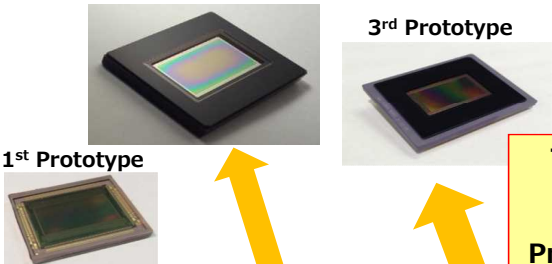
NHK技研との共同開発



8K スーパーハイビジョンセンサ
(33Mpix 120fps)
BT3300N



Presented in ISSCC2012



2020



2016



2011

2012

2013

78

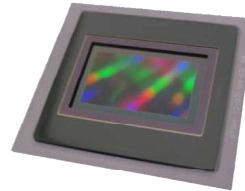
2014

8K Test Broadcasting

カイロス株式会社が
世界最小の8K内視鏡カメラを開発



当社8Kセンサ (BT3300N) を搭載



8K Sensor
Application



Broadcast



Medical



Video Conference



Security/Survey

